



おがさわら

議会だより

第 155 号



祝 おがさわら丸 500航海



目次

令和5年度決算特別委員会……………	2
一般質問……………	4
議案審議……………	8
委員会報告……………	8
編集後記……………	10

2016 年 7 月就航した第 3 代目おがさわら丸は、10 月 15 日父島発便で 500 回の就航となりました。島の生活を支え、島民や観光客の足として、台風の最中でも頑張って航海してくれました。

「おがさわら丸 本当にありがと〜う ! ! !」
船長をはじめとする船員・職員の皆様、安全航海に努めていただき心より御礼を申し上げます。

これからの 500 回もよろしくお願いします!

安藤 重行

令和5年度決算特別委員会 9月25日、26日

委員長 平野 悠介 副委員長 杉田 一男

村長から提出された「令和5年度決算」の審査を行うため、令和5年度決算特別委員会を設置し、2日間にわたり審議をいたしました。その結果、以下の意見を付し、委員全員の賛成ですべての決算を認定し、議長宛に報告書を提出しました。

令和5年度決算特別委員会 委員長報告

令和5年度決算は、歳入歳出ともに前年度を上回る結果となった。当村の財源としては村債に頼るところが大きい。これまでの任意繰上償還の結果により、実質公債費比率は昨年度並みとなっていた。今後も大規模施設の整備が予定されており、将来に大きな負担を残さないよう、慎重に計画的な財政運営に努められたい。また、基金、施策がそれぞれの目的に従って、適正かつ計画的に引き続き運用されたい。

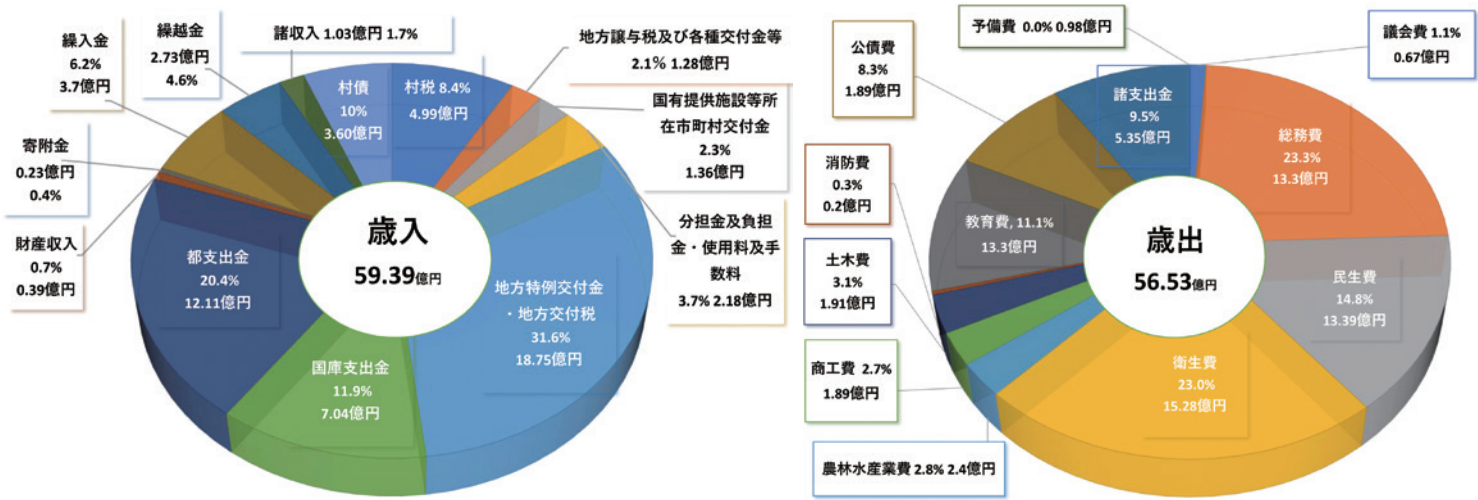
なお、個別具体的に指摘・要望のあった次の点について、必要な見直しをされたい。

- 1 公共工事の進捗について、遅滞なく管理し、財政的負担を次年度以降に残すことがないよう、また、未執行事業を発生させることがないよう、適正な予算の作成、執行を講じられたい。
- 2 公共工事に係る入札不調について対応されたい。
- 3 工事完成検査時における細部の確認、報告写真の明確化に努められたい。
- 4 職員の人材育成と定数管理も含めた効率的な施策の検討をされたい。

その他、本委員会での指摘事項、また監査委員の決算審査意見を踏まえて、なお一層効率的な行財政運営に努力されたい。

一般会計歳入・歳出決算

歳入総額	歳出総額	差引残額	執行率
59億3,949万9,919円	56億5,345万5,714円	2億8,604万4,205円	95.2%



特別会計歳入・歳出決算

会計名	歳入総額	歳出総額	差引残額	執行率 %
国民健康保険特別会計	342,683,436	342,683,436	0	100
簡易水道事業特別会計	344,613,584	285,364,050	59,249,534	82.81
宅地造成事業特委別会計	6,827,787	6,827,787	0	100
介護保険(保険事業勘定)特別会計	102,415,360	102,246,692	168,668	99.84
介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計	176,602,329	176,602,329	0	100
下水道事業特別会計	257,739,176	192,892,646	64,846,53	74.84
浄化槽事業特別会計	26,634,286	22,472,117	4,162,169	84.37
後期高齢者医療特別会計	42,033,652	42,033,652	0	100
合計	1,299,549,610	1,171,122,709	128,426,901	90.12

『令和5年度決算特別委員会』質疑の一部を紹介します。

寄附金（ふるさと寄附）

問 ふるさと感謝券の換金、利用率の現状は（清水）

答 換金については、令和4年度200万円弱に対し、令和5年度348万円。利用者増となっている。（財政課長）



森林環境譲与税

問 いつから行われているのか、具体的用途は（片股）

答 平成31年度税制改正で創設、令和元年度より区市町村へ譲与。オガクワ・母島の森づくり事業財源に充当。（財政課長）

ふるさと寄附基金

（クラウドファンディング）

問 実績と評価及び今後の活用（平野）

答 父島千尋岩ルート整備におけるガバメントクラウドファンディングを実施。95名から2,404,300円の寄付。令和5年度以降6年度の整備費に充当。令和6年度以降の継続実施は行わない。（産業観光課長）

硫黄島関連事業費

問 硫黄島訪島事業経費が、当初予算額に対し1/2の執行額になった理由（宮城）

答 予算要求時は、おがさわら丸による訪島事業予算、実施方法が自衛隊支援の航空機による事業に変更したため。（総務課長）

世界自然遺産関連事業費

問 アジアベッコウマイマイ防除対策における取り組み内容、成果（宮城）

答 固有陸産貝類重要保全区域を守る観点から、母島評議平南東方面2畝に薬剤散布。同時にモニタリングも実施。分布拡大を抑制。（環境課長）



写真提供：環境省

シロアリ対策事業費

問 山域等における駆除薬剤環境影響調査の成果（清水）

答 令和3年度から実施。従来の液剤が、ワラジムシ目及び土壌へ影響があることがわかり、新しい薬剤の検討、環境影響調査をしながら新しい薬剤を使用していく。（環境課長）

水産振興事業費

問 中国船違法操業対策事業の取り組み内容（宮城）

答 小笠原島漁業協同組合は、智島、兄島でのブイ設置、小笠原母島漁業協同組合は、姉島、妹島、姪島でのブイ設置。（産業観光課長）

給食事業費

問 補食給食年3回実施予定が2回となったのは（平野）

答 請負事業者が決まらず、1学期未実施のため。2学期、3学期各1回実施。（教育課長）

道路維持管理事業費

問 枯損木伐開作業13,090千円どの場所ですぐれくらい実施（宮城）

答 父島島内村道沿い（三日月線、宮之浜線、コペ線）モクマオウ23本伐採。（建設水道課長）

問 母島校庭周辺の水路清掃委託が未執行なのは（宮城）

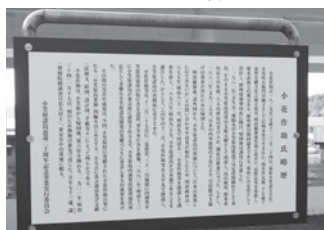
答 台風等の災害により流入した砂、流木等の清掃業務で事象発生がなかったため未執行。（建設水道課長）



文化財管理事業費

問 執行額220,050円の用途は（宮城）

答 台風により破損した扇浦レストハウス前に設置していた小花作助の案内板の改修設置費用。（教育課長）



地球温暖化対策推進事業費

問 ゼロカーボン実現に向けての広報（安藤）

答 村民だよりによる普及啓発広報、中学生対象ゼロカーボンワークショップ開催。（環境課長）

【一般質問一覧】

● 安藤重行

1. 津波被害における村の対応・取組みについて

● 清水良一

1. 小笠原村の文化財保護政策について
2. 地球温暖化対策実行計画の進捗について

● 平野悠介

1. 防災訓練および小笠原村地域防災計画について

● 宮城ジャイアン

1. 嶋谷市左衛門について
2. 台風欠航時のおがさわら丸広報について
3. 母島ローズ記念館の雨漏りについて

● 片股敬昌

1. やさしい子供を育てよう

● 稲垣勇

1. オガサワラカワラヒワ保護の現状と今後の対策について

津波発生時の発電所の高台移転が必要では！

高台移転
させたいね！

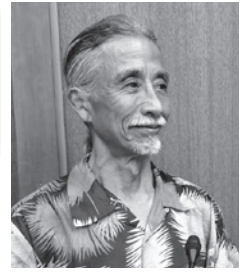
村長・・・高台移転は重要だが、島内の諸事情や
移転費用など様々な現状
では困難！



安藤 重行

- 問** 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の発表に対する取組は？避難計画で父島・母島の被災者数や死者数なども詳細に記載されているが、村の対応策で限りなく死者をゼロにする努力や避難所の感染症等の課題で現計画を向上する取組みはされたのか。
- 答** 臨時情報発表を受け、即座に大地震や津波が発生した時の備えを徹底して再確認した。災害に備えた様々な備蓄品の確認など避難所でのハード・ソフト両面で、できる対応を心掛けている。
- 問** 被災者は長期避難所生活を余儀なくされるが、時期によっては避難所の空調等がなく蒸し風呂状態になり、熱中症等で亡くなられることの無い様にする為の対策や甚大な被害があった場合、全島避難判断の基準はあるのか。
- 答** 空調設備が停電等で使えない施設もある。電力会社の電源車1台は被災状況で運用場所が決まる予定。ハード面で施設の被災リスクを減らす努力をし、現状判断で決定するので一律の判断基準は定められない。
- 問** 発電所の高台移転が必要では。
- 答** 高台移転できればよいと思うが、移転地の確保や事業者負担が膨大なため現状では困難。現環境での対策を求めることで考えている。

①小笠原村の文化財保護政策 ②地球温暖化対策実行計画の進捗



清水 良一



シュロぶき屋根の下で子供達とカヌーやタコの葉細工を作る未来を！

- ①技法や資料を確立し、担う人たちを育てていく必要がある
- ②未来を担う子供達を含めた普及啓発をやっていく

- 問** 定住の歴史の始まりから使われたシュロぶき屋根、アウトリガーカヌー、タコの葉細工を村の無形文化財に指定できないか？
- 答** 普遍的に継承された技術が現在ないこと、技を体得した個人がいらないこと等から文化財としての文化価値がないと考える。
- 問** 村指定の文化財は誰がどのような手順で決定していくのか？
- 答** 教育委員会が文化財保護審議会へ諮問を行い調査及び審議後、答申を受け、教育委員が指定する。
- 問** 無形文化財となった場合のメリットとデメリットは？
- 答** メリットは認知度のアップと財政的支援がある。大きなデメリットはないが、守り伝える責任はある。
- 問** 地球温暖化対策実行計画の進捗について。村の主要施設の電気使用量と、ごみの焼却に伴うCO2排出量の推移は？
- 答** 2023年度はほとんどの施設で削減が図られ、トータルで前年度比4.6%が削減された。ごみ焼却のCO2排出量は486t。前年に対して22%の増加となっている。
- 問** ゼロカーボン推進地域会議の内容は？
- 答** 主にごみの現状報告と共にごみの減量についての議論を行った。普及啓発事業としてごみ分別ハンドブック作成を計画している。

過去の小笠原での近地津波。村の考えは？

村長…基本となる訓練の繰り返しを通して応用力を培う。
防災意識向上のための情報発信を続ける。



平野 悠介

近地津波への備えも大切

- 問** 今年の9月2日に行われた防災訓練について、前年からの課題と本年の改善事項は？
- 答** 父島小中学校避難所への避難誘導、避難行動要支援者の搬送、巡回避難誘導の3点が課題であった。それぞれ改善を行ったが、巡回については2回目の呼びかけが完了できなかったことが課題として残った。
- 問** 防災訓練の参加者数は526人、小中学校などを除いた一般村民の参加は父島100人、母島47人と少なく感じる。南海トラフに限らず小笠原でも近地地震による7mの津波が1826年にあったという記録がある。防災意識の向上と村の対応の応用力も求められるが？
- 答** 南海トラフ地震を想定した基本となる訓練の繰り返し、様々な場面に對する応用力を培う。防災の啓発・教育を含めて防災意識の向上のための情報発信を続ける。
- 問** 避難所について、現在建築中の小中学校体育館の収容人数と空調は？
- 答** 小中学校の新体育館には、小体育館には空調が設置予定だが、アリーナ部分については設置予定はない。収容人数は全体で815人、長期避難では半分の数値。
- 問** 避難所として考えた場合、冷房が無いということは危惧している。今後の課題としてとらえたい。

① 嶋谷市左衛門の功績は？ ② 台風欠航時の広報は？ ③ ロース館の雨漏りは？



宮城 ジャイアン



- ① 日本国となる功績。来年、記念事業を
- ② 今後遅れぬよう調整。協力していく
- ③ 早急に対策を検討。葺き替えはR8年度

小笠原始まりの歴史が面白い！ロマンがあります

問 江戸時代に徳島のみかん船が母島に漂着。報告を受けた江戸幕府が長崎の嶋谷市左衛門に巡検を命じ、その実績が明治9年に国際的にも認められて日本国となった。EYZも世界6位になった。功績をどう考える？ 来年は巡検から350年。記念事業としては？

答 日本領土となる功績。まだ理解が少ないので発信していく。記念事業を実施したい。長崎市も訪問し、意見交換していく。

問 今年8月の台風によるおが丸欠航は竹芝出港当日3時間前の決定で混乱を招いた。運航会社発表時、島内放送もなく、1時間後に放送された。村はどう考えるか？

答 安全運航が第一。気象予報によっては間際の判断は今後もあり得る。今回はやむを得ない。依頼なしには放送できない。遅れずに放送できるように調整していく。村も協力して対応していく。

問 ロース記念館の雨漏りが続いている。去年6月議会でも質問したが、対策されておらず困っている。葺き替えの進捗は？

答 ビロウの試験を行い、1本の木から5割まで採取できると分かった。最短で令和8年着工になる。雨漏りの補修は見積もりが高額で断念。支所と連携しながら対策を検討する。

本村の教育の目的は？

教育長・・・誰一人取り残すことなく、すべての子供が将来への希望を持って、自ら学び育つこと。



片股 敬昌



問 全国的に見て相変わらず子供たちのいじめ、自殺の問題が絶えない。教育の目的を改めて確認したい。

答 本村の教育の目的は、誰一人取り残すことなく、すべての子供が将来への希望を持って、自ら学び育つこと。確かな学力、豊かな心、健康な学びを軸とした生きる力を教える。

問 デジタル化推進の一方で教育委員会が心がけていることは。

答 知識はAIを活用したGIGAスクール対応に取り組み、心通わせる情報教育は教師が対面で授業に取り組む双方の利点を生かし、偏りのない全人格の教育を実施する。

問 世の中のデジタル化は急激な社会変革をもたらし、ノーベル賞受賞者の大村智先生は、人間本来の心が不在となつてはいけないと言っている。スマホ脳の著者ハンセンもスマホが脳に与える影響に警鐘を鳴らしている。知識の習得とともに人の痛みがわかる偏りのない教育を続けて欲しい。最後に教職の道を長らく歩んで来られた教育長に伺う。ご自分の人生を振り返って点数をつけるとすれば何点になるのか。

答 敢えて点数をつけるとすれば51点。教育が安定した時、教育とは呼べない時、数々の同僚が教職現場を去る中、四十数年携わり続けた自分へのご褒美がこの1点です。

子の心を知らぬ親の方が悲しい

平島で取組み中のオガヒワの保全事業の成果を伺う 本島・属島のネズミ駆除の成果、対策は？



稲垣 勇



環境課長…平島で水場、餌場の設置
で増加傾向。
ネズミ防除対策を継続。

希少動植物を
次世代へ！

- 問** かつて母島島内でも見られたが、近年見
かけなくなった。現在の生息状況は。
- 答** 小笠原諸島森林生態系保全センターの
調査速報等から直近状態では、平島を除い
た向島、姉妹島、姪島4島では減少が著しい。
原因として、冬から今年5月頃までの干ば
つによる水場餌資源の不足で生息環境の悪
化。一方で平島では増加傾向。4年度後半
から実施したネズミ防除で低密度になった為
と人工水場や人工餌場の設置によりオガサ
ワラカワヒワの個体数増加につながった。
- 問** 今後も生息環境の悪化は常に考えていか
なければと考えるが、その対応策は。
- 答** ネズミ防除対策の継続と、水場や餌資源
等生息環境の悪化を防いでいく必要がある。
- 問** 平島の根絶は出来たのか伺う。
- 答** 駆除から3年間センサーカメラで撮影さ
れなかった場合、一般的に根絶と定義され
ているので現状では根絶とは言えない。
- 問** 属島の水場餌場をどう確保するのか。
- 答** 平島では、木の幹に麻紐をくくりつけて
樹木を伝って流れる雨水を受け水盆に溜め、
人工水場を確保している。
- 問** もちこまれた外来動植物により希少動
植物が危機的状況にならないよう今後とも
対策を強化してほしい。
- 答** 今後とも対策を継続していく。

議長出張報告



出張日	出張用務
7月12日	令和5年度小笠原村観光局事業報告会出席
7月17日	東京都町村会・東京都町村議会議長会合同会議出席
7月18日	朝日健太郎環境大臣政務官・環境省自然環境局長表敬
7月22日	第13回小笠原航空路協議会出席
7月23～24日	小笠原村・平泉町中学生親善交流事業出席
7月26～27日	愛らんどリーグ2024フットサル大会出席
7月29日	令和6年度硫黄島訪島事業出席
7月31日	小笠原を応援する会出席



愛らんどリーグ 2024 フットサル大会



東京都町村会・
東京都町村議会議長会合同会議



硫黄島訪島事業

令和6年第3回定例会議案等審議

(開会日：9月11日、12日、26日)

【全議案等、全議員賛成で可決、認定されました。】

- 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 小笠原村国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 令和6年度小笠原村一般会計補正予算(第2号)
- 令和6年度小笠原村宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和6年度小笠原村介護保険(保健事業勘定)特別会計補正予算(第1号)
- 令和6年度小笠原村介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計補正予算(第2号)
- 令和6年度小笠原村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 令和6年度小笠原村簡易水道事業会計補正予算(第2号)
- 令和6年度小笠原村生活排水処理事業会計補正予算(第2号)
- 財産の取得(内視鏡)について
- 令和5年度小笠原村一般会計及び特別会計8件歳入歳出決算の認定
- 議員の派遣について

健康保険証が12月で新規発行終了。それに伴う、罰則規程が改正されました。

議会運営委員会 8月30日

清水良一 委員長 宮城ジャイアン 副委員長

令和6年第3回定例会の運営、議員の派遣について及び継続審議の議論が行われました。継続審議のうち、「機器の持ち込み」は、第3回定例会にて試験的運用をする。「議会意見交換会」「議会報告会・意見交換会」については、引き続き、調査することとなりました。

総務委員会 9月12日

片股敬昌 委員長 平野悠介 副委員長

小笠原諸島世界自然遺産

世界自然遺産関連について以下の報告、質疑がありました。

○主な会議予定

7月25日

小笠原諸島世界自然遺産地域科学委員会(第1回)

9月18日

小笠原諸島世界自然遺産地域域連絡会議(第1回)

○村民向け普及啓発事業

向島視察会 7月15日実施 参加者：11名

○ペット条例について

10月からおがさわら丸東京就航日にて竹芝客船ターミナルにおいて「動物の持ち込み申告」受付業務試行的実施。

【問】 通年で受付業務を行った場合の予算見込み額は。(平野)

○ネズミ対策(兄島・平島)について

【問】 兄島ネズミ対策、殺鼠剤空中散布回数3回。散布量等は前回と同じなのか。(清水)

【問】 平島ネズミ対策、散布している殺鼠剤、どれくらい食べられているのか。(安藤)

令和7年度小笠原諸島振興開発事業概算要求について

令和7年度小笠原諸島振興開発事業概算要求についての報告がありました。

住宅政策

父島奥村分譲地、母島静沢分譲地、小笠原諸島振興開発計画の決定、東京都小笠原住宅の整備、住宅モデル事業について報告、質疑がありました。

【問】 母島静沢分譲地の進捗、測量確定後の区割りの基準は。(宮城)

【問】 振興開発計画土地利用変更決定の経緯は。(清水)

出資法人小笠原ラム・リキュール株式会社について

現状及び建物・設備の更新見込費用、今後の方向性について報告、質疑がありました。

【問】酒造事業継承の募集方法は、島外も含めてなのか。(清水)

【問】酒造メーカーへの働きかけはするのか。(平野)



南鳥島における地対艦誘導弾射撃訓練基盤の整備について

訓練の概要、村からの申し入れ（使用ミサイル海上着弾の回収、射程方向の変更、漁業操業への配慮等）の報告がありました。



硫黄島調査特別委員会 9月12日

杉田一男 委員長 安藤重行 副委員長

令和6年6月の委員会以降の硫黄島に関する動き、硫黄島に係る連絡会議について報告がありました。

遺骨収集帰還事業について

第1回：7月3日～17日（中止）

第2回：9月18日～10月2日（中止）

訓練について

FCLP訓練、HRS訓練、潜水訓練、LCAC（エアークッション艇）訓練、掃海訓練

その他

- ・硫黄島島民平和祈念墓地公園管理事業（年6回実施予定）
第2回：7月17日～22日（実施）
第3回：9月14日～19日（実施）

- ・南鳥島行政視察
6月27日～28日（航空機運用の影響により中止）
- ・硫黄島訪島事業
7月29日（実施）
航空機による日帰り訪島
（対象：一般村民、参加数：65名）
- ・基地交付金要望活動
村長、議長連名による要望書提出
 - ・基地交付金（7月30日）
提出先：総務大臣宛
 - ・特定防衛施設周辺整備調整交付金（8月1日）
提出先：防衛省地方協力局長、防衛省北関東防衛局長宛

小笠原航空路開設推進特別委員会 9月12日 稲垣勇 委員長 平野悠介 副委員長

令和6年6月の委員会以降航空路開設推進に関する動きについて村長の会議への出席、陳情活動について報告がありました。

【第13回小笠原航空路協議会】

- ・小笠原航空路に係る令和5年度調査結果、検討状況及び令和6年度調査事項
小笠原航空路協議会の議事・資料は、東京都総務局行政部ホームページ

<https://www.soumu.metro.tokyo.lg.jp/05gyousei/06koukuuro.html>をご覧ください。



令和6年第4回定例会会議日程表（予定）

月日	開始時間	会議名	内容
12月17日（火）	午前10時	本会議	会期の決定、一般質問等
12月18日（水）	午前 9時	総務委員会	
	午前11時	硫黄島調査特別委員会	
	午後 2時	小笠原航空路開設推進特別委員会	
	午後 3時	本会議	議案審議

現時点での会議予定です。会議日程については変更がある場合がありますのでご容赦ください。

● 映像の配信について

TV 11チャンネルで中継放送、Youtube でライブ配信を行います。

過去の議会録画中継は、アーカイブ配信しています。

【小笠原村公式チャンネル】

URL：<https://www.youtube.com/@boninlive5930/streams>



会議での発言内容など詳しく知りたい時は、会議録をご覧ください。

次の施設で閲覧できます。

- 村役場議会事務局
- 地域福祉センター図書室
- 村役場母島支所
- 母島村民図書室

また、パソコンやスマートフォンなどで見ることもできます。

小笠原村公式サイト → 議会事務局 → 会議録で



編 集 後 記

今年は、元旦に能登半島地震、小笠原近海を通過した台風 10 号も日本各地に被害をもたらし、自然災害の恐ろしさを改めて考えさせられる日々が続いております。

いざ災害に直面した時は、普段からの備えと訓練が命を守る行動へ繋がります。防災訓練を機に、あらためてお住まいや職場の避難経路、避難場所の確認を行いましょう。もしもの時、学校での避難はどうなるのか、職場での避難はどうなるか、ご家庭でも話題に取り上げてみてください。災害によっては、1 週間程度は電気、水道の無い中ご自宅で過ごす可能性もあります。備えはできていますでしょうか。

小笠原でも近地地震による津波の記録があります。津波の高さは7mとも推測されています。他人事ではない、その意識を持って、今一度ご家庭、地域の防災を見直してみてください。

平野 悠介

● 議会だより編集委員

安藤重行 清水良一 平野悠介 宮城ジャイアン

問い合わせ先 小笠原村議会事務局 電話 2-3118 FAX 2-3208 メール gikai@vill.ogasawara.tokyo.jp